

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
さあかすチャレンジドふたば		R8 年 4 月 30 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・同時帯に6名以上の利用者がある場合は部屋を2つに分けて支援している。発達支援室については、部屋を分割して確保している。 ・部屋が2つ使用できる。 ・必要に応じて別室を利用できるように環境を整えている。 ・利用人数により、1部屋のみ、2部屋使用と分けている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・支援員を3名は配置し、支援員1人に対し、利用者数が4名までに抑えている。 ・常勤以外にも非常勤の職員も配置している。 ・子どもの特性に応じて配置できている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・建物の老朽化による汚れは否めないが、自発用のスペースを確保し、自発用の教材はそのスペースに配置するなど工夫されている。 ・バリアフリーではないが、わかりやすく掲示している。 ・快適に過ごせるよう環境の配慮ができています。	・プレイルームとトイレの床がボコボコになっているので転倒リスクがある。 ・廊下が暗く、児童が怖がっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	・サービス終了後に教材は決まった場所に片付けられるなど、翌日に備えられている。 ・快適に過ごせるよう環境の配慮ができています。	・キャッチボールすると狭く感じる。 ・整理整頓を行って、不用品を手放して、物を置く位置を決める。 ・使うものを使いやすい位置に置く。 ・毎日の掃除や片付け、アルコール消毒が欠かせない。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・利用できる別室は準備されている。 ・となりの部屋を利用できるように、不要なものを片づけて利用している。 ・クールダウンするための部屋を確保、使用することも認めている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・事例検討を適宜行っている。 ・毎日、振り返りがある。 ・定期的に行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・送迎時に必ず保護者と会い、懇談している。また、行事として、保護者会、参観日とその後の懇談もしている。アンケートも実施している。 ・その都度できている。 ・朝礼、夕礼にて機会を設け、業務改善につなげている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・朝礼・夕礼等、意見交換の場は設定されている。 ・その都度できている。 ・毎日、朝礼と夕礼を行っている。 ・朝礼、夕礼にて意見の交流ができています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・顧問の社労士、行政の福祉担当者等への相談を緊密に行い業務改善に努めている。 ・監査等での業務指導の指摘にて、改善につなげている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・事業所内での研修を定期、及び、緊急には臨時にも行い、また、外部研修にも職員を派遣している。 ・その都度、開催される。 ・事業所内でおこなっている。 ・スキルの向上、意見交換など、研修を月に1回以上行っている。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ウェブサイトに公表されている。 ・更新時にできている。 ・ホームページにて公表できている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・子どもの観察や子どもとの懇談、及び、送迎時や懇談会で保護者の要求や意見を聞くなどして情報を収集し、支援計画を作成している。 ・アセスメント、現状を把握したうえでサービス計画を作成している。	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、終礼等、適宜、職員間の情報交換と議論を行っている。 ・最近の様子を話している。 ・子どもの最善の利益を考慮した話し合いができています。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、終礼等、適宜、職員間の情報交換と議論を行っている。 ・更新時に共有されている。 ・計画の変更時には必ず職員周知し、いつでも閲覧できるようにしている。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者の様々な情報を集め、適切な評価を行っている。 ・発達検査や保護者から、学校からの情報により、行動分析、観察、確認できている。 	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報から作られた適切な計画の達成のため、日々の職員間での議論の中で、その日の支援内容を検討している。 ・達成しやすい5領域の目標設定にしている。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での議論を日常的に行なっている。 ・気付いた点を共有して改善につなげている。 ・策定会議を行っている。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での議論を日常的に行なっている。 ・毎日、違うものになっている。 ・外出や工作と調理実習を入れている。 ・同じスタッフで固定化しないように、日々、内容を変えるなど工夫している。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での議論を日常的に行なっている。その中で、日々の活動プログラムを検討、実施している。 ・協力して取り組んでいる。 ・個別、集団を組み合わせたサービス計画を作成し、支援できている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、終礼等、適宜、職員間の情報交換と議論を行っている。 ・朝礼でできている。 	・役割分担は確認できているが、内容までは打合せできていないため、今後は連携して行っていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、終礼等、適宜、職員間の情報交換と検討を行っている。 ・振り返りの時間がある。 ・夕礼にて振り返りを行っている。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内ネットワーク上に日誌を置き、職員全員が記録、閲覧できるよう整えている。 ・業務日誌に記載して、朝礼や夕礼にて話す時間を作っている。 ・業務日誌、朝礼、夕礼にて記録をとり、改善を行っている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の職員による子ども観察に加え、定期的に保護者にもモニタリングを行い、支援計画を見直している。 ・現場の声を聞き、必要に応じてモニタリング、見直しを行っている。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的支援プログラムに加え、工作や料理、外出行事など、様々な活動を通して「4つの基本活動」を組み合わせ支援を工夫している。 ・地域交流はできていない。 ・子どもの興味や意見を尊重している。 ・スタッフと共通理解し、支援に取り組んでいる。 ・行事計画などで行っている。 	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的支援の中でも、常に自己決定を意識し、活動内容を選択させている。 ・2択くらいで選択できるようにしている。 ・選ぶ経験を増やしてあげる。 ・いくつかの選択肢があることを伝えてあげている。 ・必ず自己選択、決定できるよう、個々の特性に応じて工夫している。 		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・要請により、適宜、現場指導員も会議に参加している。 ・学校の担任、支援の先生なども参画してくれている。 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関、福祉行政機関、教育委員会、学校や園など、関係機関との日常的関係作りに努めている。 ・相談員や学校とはできている。 ・送迎時に学校の先生と話をしている。 ・保育、教育等の関係機関と密に連携をとり支援できている。 	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に、関係機関やその職員との関係作りに努めている。 ・送迎時に学校の先生と話をしている。 ・担任、支援の先生とやり取りして連絡が取れている。 	・下校時間はできているが、年間計画はできていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば対応できるよう関係機関との協力体制は整えている。 ・就学児童の送迎の際に前任の先生と情報共有できている。 	・わからない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・要請があれば対応できる。 ・保護者のニーズにより、デイでのようす、課題などの情報共有を行っている。 	・わからない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童発達支援センターに助言を受けるべき事例が発生した場合には、遅滞なく助言を求める姿勢は常に持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・機会を設けていく必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は意図的に計画したものはなかったが、子ども対象の施設に外出した際など、他の事業所や園、あるいは個人的に来ている子どもと共に過ごすことはあった。 ・児童館に遊びに行ったり児童館で行われる行事にも参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の子どもとは活動していない。 ・機会を設けていく必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関に開催の案内を依頼し、部会に参加したいと考えている。 ・わからない。 ・機会を設けていく必要がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や懇談会で事業所からの情報を提供するとともに、保護者の情報や要求を聞いている。 ・送迎時に話す機会がある。 ・家庭連携を行い、共通理解できている。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は事業所外などの正式な研修の機会はなかったが、送迎時に時間をとり家族支援の内容も適宜行っている。 ・保護者会を行っている。 ・助言、アドバイスを伝える場面を設けている。 	・わからない。
保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にさまざまな情報を提供し説明を行っている。 ・契約時にできている。 ・契約時に必ず伝えている。 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの活動の中で、何ができるようにしたいかなどの意見を聞いたり、送迎時に保護者の要求や意見を聞いたりしている。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対するモニタリングは定期的に行っている。 ・支援計画できている。 ・書面、口頭にて説明を行い同意を得ている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングを定期的に行うとともに、保護者会や懇談会も定期的に行っている。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な保護者会、参観日などの行事を行い、参観日には家族の行事参加も依頼している。 ・保護者同士は行っていない。 ・保護者会を行っている。 	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者には、事業所への相談や要求、意見の申出をいつでも受けているということを適宜周知している。 ・その都度できている。 ・苦情があった際の対応システムを作り、適切に対応できている。 	

等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所からの通信、LINEアプリなどで発信できている。 ・SNSは活用できていない。 ・年に3回ほど、ふたばだよりを発行している。 ・年に不定期だが活動の様子やお願いなどのプリントを発信している。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修、及び、緊急時の臨時研修など、職員間の意識改善に努めている。 ・定期的に事例検討、研修を行っている。 	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・音声、文字、図など、適宜、手段を選んで意思疎通を図っている。 ・連絡帳やLINEでできている。 ・連絡帳や送迎時を通じて保護者とコミュニケーションをとるように心がけている。 ・配慮しながら対応できている。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は地域住民を招待することはできなかったが、参観日等に、同事業所グループ内にある他の部署の職員さん（地域住民）に参加してもらっている。 ・地域の住民とは関わっていない。 ・機会を設けていく必要あり。 	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを策定し、研修や訓練も定期的を実施している。 ・マニュアルがある。 ・研修をしたり実践を行っている。 	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを策定し、研修や訓練も定期的を実施している。 ・避難訓練はできている。 ・職員だけでなく、児童もいっしょに訓練を行う時間をとっている。 ・外部の消防活動にも参加し、訓練を行っている。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約を結ぶおり、必要な情報を確認し、記録として事業所内に保管、職員に周知徹底している。 ・契約時に確認している。 ・デイで服薬した場合は服薬帳に記載している。 ・契約前には聞き取り、情報共有にて確認している。 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・食事提供はしていない。昼をまたいで利用している子どもは弁当を持ってきている。 ・契約時にできている。 ・食事提供はしていないが、アレルギーの把握はしている。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を行っている。 ・毎日の点検、研修にて安全管理が適切に行われている。 	・自分はまだ研修は受けていない。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡カードを作成し、緊急時の避難先を保護者にも周知している。 ・緊急時の避難経路、連絡先の再確認を行っている。 	・わからない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的研修、及び、事例発生時の緊急検討会を遅滞なく行っている。 ・その都度できている。 ・ヒヤリハットが発生した場合は必ず職員で話し合いを行っている。 ・事例検討を行い、再発防止につなげる対策を講じている。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的研修、及び、事例発生時の緊急検討会を遅滞なく行っている。 ・研修は受けた。 ・研修、チェックリストなどの活用にて、適切な対応ができている。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には利用契約を結ぶ際に拘束の説明・同意を得ている。また、職員には、定期的研修、及び、事例発生時の緊急検討会を遅滞なく行っている。 ・契約時にも同意書をもらい説明できている。 	・わからない。	